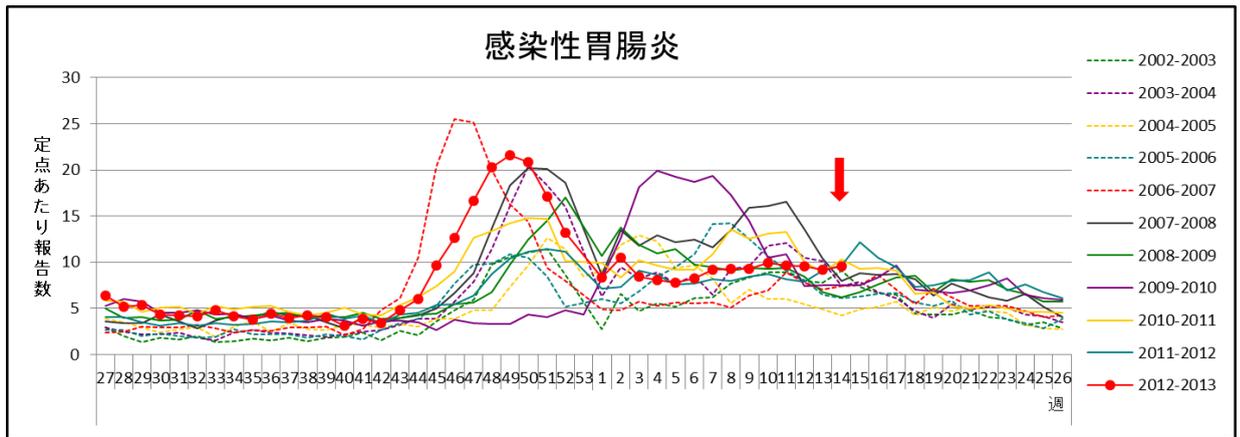


## 感染性胃腸炎情報 2013 年 第 14 週 (4 月 1 日 ~ 4 月 7 日)

○岡山県内の患者報告数は 527 名 (定点あたり 9.58 人) であり、前週とほぼ同数でした。(54 定点医療機関報告)



※感染性胃腸炎は秋から翌年の春にかけて流行するため、前年 27 週 ~ 今年 26 週を 1 シーズンとして、グラフを作成しています。

**感染性胃腸炎**は、前週とほぼ同数で (定点あたり 9.17 → 9.58 人)、第 3 週以降横ばいで推移しています。地域別では、倉敷市 (11.64 人)、備北地域 (11.50 人)、岡山市 (10.07 人) で患者が多くなっています。年齢別では、0~2 歳が全体の 37% を占め、この年齢層の割合が徐々に増加しています。

依然として患者数は、流行期とほぼ同数で推移しています。例年 3~5 月にかけては、ロタウイルスによる胃腸炎が、0~2 歳の乳幼児を中心に増加するとされています。岡山県でも、0~2 歳の割合が徐々に増加しており、注意が必要です。主な症状は嘔吐と下痢で、ノロウイルスに比べ重症度が高いといわれています。嘔吐や下痢により脱水症を起こすこともありますので、体調の変化に注意し、早めに医療機関を受診してください。手洗いの徹底や、下痢便・吐物の適切な処理など感染予防と拡大防止に努めてください。

### ◆地域別・年齢別発生状況

